

市長の所信 ～会派代表

●観光振興に対する事業効果は

問 観光振興に位置付けられている「道の駅立田ふれあいの里」に多額の税金を投入し、再整備が行われる。事業効果の見込みは。

市長 この施設は、県から高い評価を受けている。農業地帯でもあり、今後計画しているハスの維持等を検討しながら多くの来場者から訪れてよかったといわれる施設運営を目指していく。



▲愛西市花はす公園予定地

●学校統廃合問題、市長の見解を問う

問 立田・八開地区の学校全てを統合し、小・中一貫校1校にする議論は、市民と平行線で進んでいない。コロナ禍もあり進んでいない。市長の考え方は。

市長 児童・生徒一人ひとりに向き合った教育、将来を担う子どもたちによりよい教育環境を検討し、引き続き説明会を設けていくと教育委員会は

述べている。

今後、話し合いの開催方法や対象者も工夫し、議論を進めていかなければならないと考えている。しっかりと議論してほしい。

教育長 現段階で、提案

内容を変更する考えはない。ただし、将来、よりよい教育環境の整備が困

●まちづくりをどう進めるか

問 農業振興、企業誘致、観光振興など、「活力ある快適なまちづくり」に向けた市長の考えは。

市長 農業振興は、農業人口の拡大につなげていかなければならない。農作物をブランド化し新規就農者の拡大にもつなげたい。

観光面では、道の駅リニューアルをし、着実に取り組み、利便性の高い駅として名鉄佐屋駅周辺整備を進める。

企業誘致で、自主財源

難になった場合、この限りではない。市民との話し合いは適宜開催する。

また、市民から要望等があれば、少数であろうと説明や話し合いをしていく。

問 教育委員会にお任せするのではなく、市長、そして市として助言などをし

市長 コロナ禍で話し合いが減り、市の人口動態にも影響が及んできていることを見据え、今の案を進めるべきか、地域の方々がどんな形の学校の存在を望んでいるか新たに議論をし、教育委員会として把握をしてほしい。

市長 現在、行政のデジタル化を進めているが、市民とのコミュニケーションを意識しながら進めていく。また、SDGsを意識した取り組みを進めていく。

問 「新しい生活様式へのまちづくり」に向けた市長の考えは。



▲整備を進める佐屋駅周辺